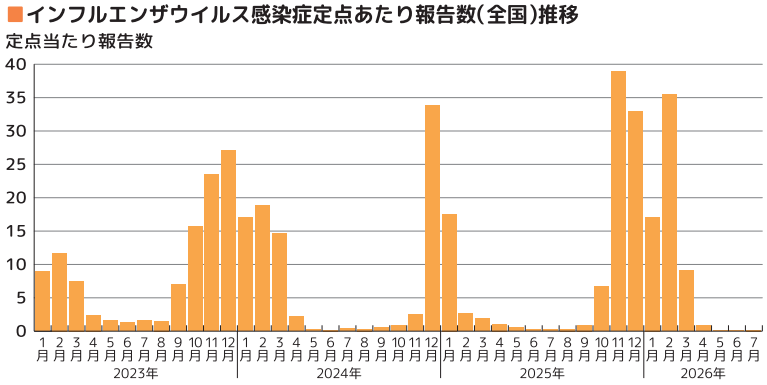
65歳以上の方などを対象に
インフルエンザワクチンの定期接種を実施しています。



インフルエンザの重症化予防のため、毎年の接種をご検討ください。

インフルエンザとワクチン

- インフルエンザは、高齢者では肺炎などで重症化する割合が高いことが知られています。また、インフルエンザにかかった後は、心筋梗塞や脳卒中のリスクが高まることも報告されています。
- インフルエンザは毎年秋と冬に流行を認めています。
- 効果が現れるまでに約２週間かかるため、流行がピークを迎える前に接種を終えられるよう、早めの接種をご検討ください。



接種対象者

65歳以上の方

60～64歳で

- 心臓・腎臓・呼吸器の機能に障害があり、日常生活が極度に制限される方
- HIVにより免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

接種方法・費用

定期接種は、お住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む)で実施されます。
接種を受ける場所や費用についての詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。



接種時期・使用するワクチン

- 接種時期：**流行期に1回**
- 使用するワクチン：インフルエンザHAワクチン(不活化ワクチン)

※自治体によって実施期間が異なる場合があります。詳細は、お住まいの市町村の広報やホームページ等でご確認ください。

ワクチンの効果



発病(発症)を予防する効果
34～55%



死亡を予防する効果
82%

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

他のワクチンとの同時接種



インフルエンザワクチンは、新型コロナワクチン、帯状疱疹ワクチン、高齢者に対する肺炎球菌ワクチンとの同時接種が可能です。

ワクチンの安全性(主な副反応)

各社のワクチンについて、以下のような副反応が報告されています。接種を受ける前に、医師によくご相談ください。



接種部位の症状
(赤み・腫れ・痛みなど)

10～20%



全身性の症状
(発熱・頭痛・倦怠感など)

5～10%



これらの症状は通常２～３日でおさまります。

重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー様症状(発疹、じんましん、赤み(発赤)、掻痒感(かゆみ)、呼吸困難など)が知られています。接種後に気になる症状がある場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票があった市町村にご相談ください。

詳しい情報はこちら(厚生労働省ホームページ)

インフルエンザワクチンについて

厚労省　インフルエンザワクチン　検索

予防接種健康被害救済制度について

厚労省　救済制度　検索

お問い合わせ